

「ヘルシーピープルみえ・21」歯科領域における中間評価結果

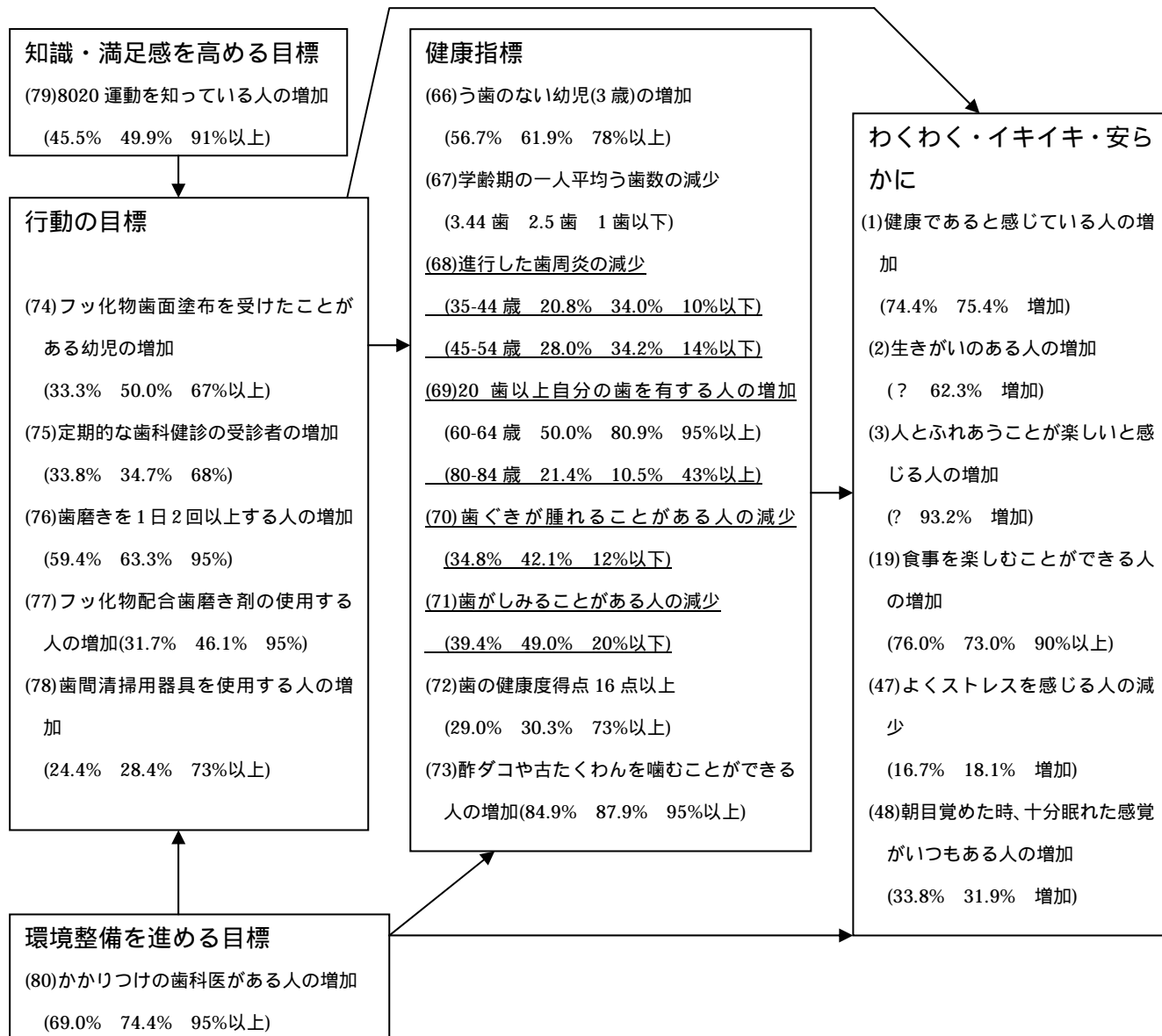
歯の健康の指標一覧

No	目標	1999年値	目標値	現状値 (年)	達成状況
66	う歯のない幼児(3歳)の増加(割合)	56.7%	78%以上	61.9% (2004)	
67	学齢期の一人平均う歯数の減少	3.44 歯	1 歯以下	2.5 歯 (2004)	
68	進行した歯周炎の減少(35-44歳)(割合)	20.8%	10%以下	34.0% (2004)	×
	進行した歯周炎の減少(45-54歳)(割合)	28.0%	14%以下	34.2% (2004)	×
69	20 歯以上自分の歯を有する人の増加(60-64歳)(割合)	50.0%	95%以上	80.9% (2004)	
	20 歯以上自分の歯を有する人の増加(80-84歳)(割合)	21.4%	43%以上	10.5% (2004)	×
70	歯ぐきが腫れることがある人の減少(割合)	34.8%	12%以下	42.1% (2004)	×
71	歯がしみることがある人の減少(割合)	39.4%	20%以下	49.0% (2004)	×
72	歯の健康度得点 16 点以上(割合)	29.0%	73%以上	30.3% (2004)	
73	酢ダコや古たくわんを噛むことができる人の増加(割合)	84.9%	95%以上	87.9% (2004)	
74	フッ化物歯面塗布を受けたことがある幼児の増加(割合)	33.3%	67%以上	50.0% (2004)	
75	定期的な歯科健診の受診者の増加(割合)	33.8%	68%以上	34.7% (2004)	
76	歯磨きを1日2回以上する人の増加(割合)	59.4%	95%以上	63.3% (2004)	
77	フッ化物配合歯磨き剤を使用する人の増加(割合)	31.7%	95%以上	46.1% (2004)	
78	歯間部清掃用器具を使用する人の増加(割合)	24.4%	73%以上	28.4% (2004)	
79	8020 運動を知っている人の増加(割合)	45.5%	91%以上	49.9% (2004)	
80	かかりつけの歯科医がある人の増加(割合)	69.0%	95%以上	74.4% (2004)	

達成状況欄の各記号は、○：達成済、△：前進、-：不明、×：後退、をあらわします。

No に下線が引かれている指標は、2004 年実施の県民健康意識調査から把握したデータです。

(1) 指標体系



1 表中の()内の数値については、(1999年値 現状値 目標値)を現します。

2 表中の下線が引かれた指標は1999年の値から後退した項目です。

(2) 指標の状況及び課題

- ア．歯の健康に関する指標は 15 指標 17 項目ありますが、中間評価では 12 項目で改善しています。また、5 項目で悪化が見られます。
- イ．歯周炎の増加及び歯ぐきが腫れたり歯がしみる人が増加しています。
- ウ．今後はフッ化物を含め歯の健康についての正確な知識を一層普及させ、一人ひとりが歯の健康について取り組めることが課題です。

(3) 指標に影響を及ぼした社会環境変化

- ・フッ化物入り歯磨き剤が普及しました。
- ・フッ化物塗布、シーラント等むし歯予防処置をする人が増加しました。
- ・歯科医院が増加しました。
- ・「白い歯」や「きれいな歯」が流行し、歯の意識が向上しました。
- ・キシリトールガムが普及しました。

(4) 三重県の取組

ア．ネットワークづくり

- ・関係団体などを交えて 8020 推進協議会を開催しました。
- ・地域において地域 8020 推進協議会を開催しました。
- ・歯科保健技術職連絡協議会を開催しました。

イ．人材育成

- ・8020 推進員を育成しました。
- ・県内在住の歯科衛生士に地域歯科保健活動の研修を行いました。
- ・市町村に勤務する歯科衛生士を対象として研修を行いました。
- ・食生活改善推進協議会員を対象として地域歯科保健活動について研修を行いました。

ウ．啓発

- ・「歯の衛生週間」や「歯科保健教室」でフッ化物の啓発や食後の歯磨き、定期的な健診の必要性について啓発しました。
- ・三重県歯科保健大会を教育委員会や三重県歯科医師会と共催し、「8020 コンクール」や「母と子のよい歯のコンクール」の入賞者を表彰しました。

(5) 指標前進のための市町村の取組

- ・1歳半、3歳児健診や妊婦への啓発など保護者に対して啓発しました。
- ・「8020 コンクール」の参加者を募集するとともに、高齢者が自分の歯を大切にすることについて啓発しました。
- ・「母と子のよい歯のコンクール」の参加者を募集するとともに、子どものむし歯予防について啓発しました。
- ・成人への集団教育や個別健康教育などの歯科保健教室を実施しました。
- ・イベント、マスメディアなどを活用して、むし歯予防や歯周病予防について啓発しました。
- ・幼稚園や保育園、小学校等で、歯磨きの習慣化のためにブラッシング方法等を啓発しました。

(6) 企業、N P O 等の取組

- ・ 歯科医師会、歯科衛生士会が啓発活動を行いました。
- ・ 地域の歯科医院でも治療の際に啓発が行われました。
- ・ 育児雑誌による情報提供が行われました。
- ・ 歯磨剤やガムのメーカーのCMが、フッ素やキシリトールを普及させました。

(7) 今後の進め方

ア．ネットワークづくり

- ・ 8 0 2 0 推進協議会を中心に、市町や地域の歯科医師会、教育委員会等と協働して取組を進めます。

イ．人材育成

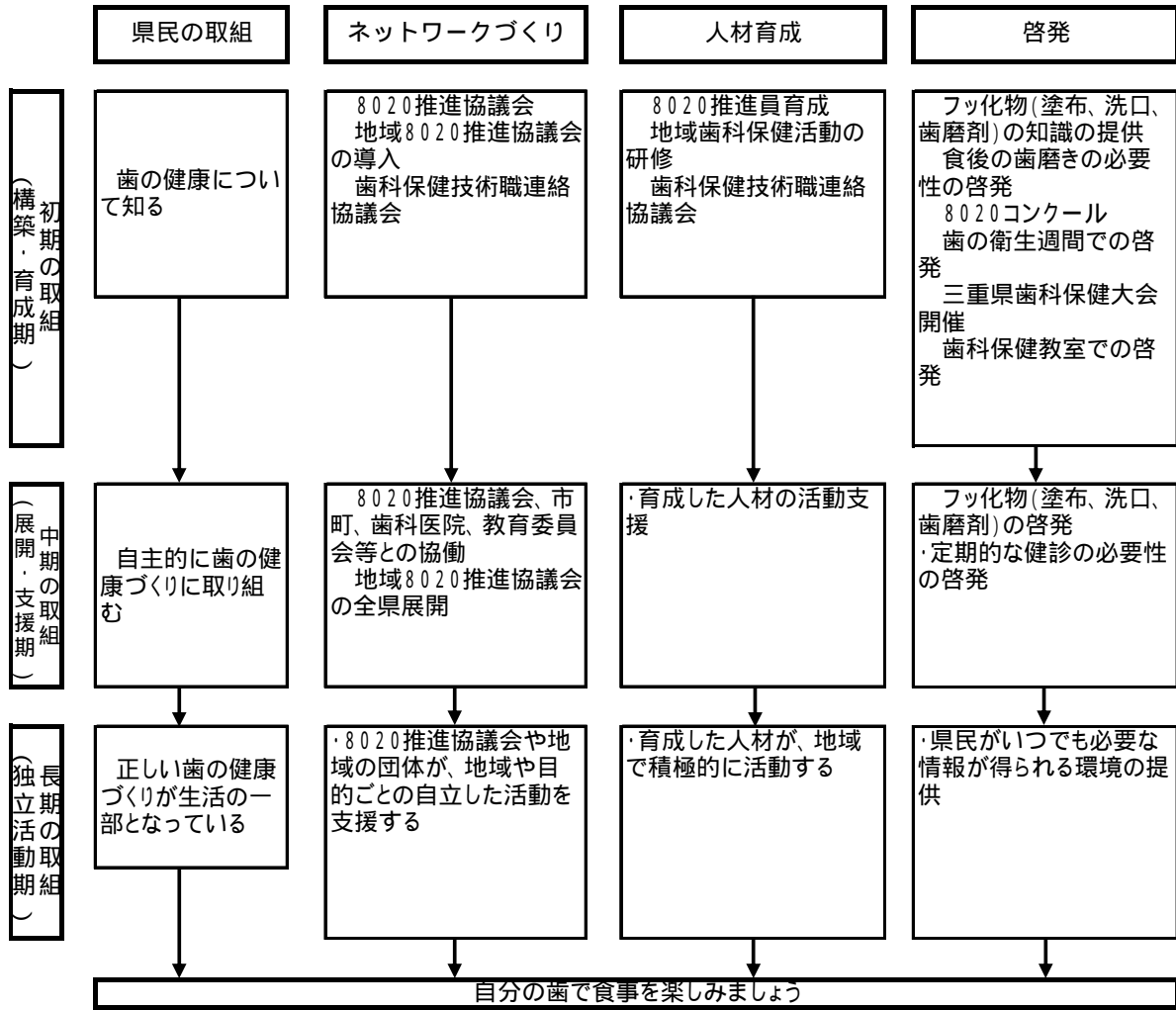
- ・ 8 0 2 0 推進員等育成した人材が積極的に活動できるよう支援していきます。

ウ．啓発

- ・ 乳幼児、学童、成人、高齢者などの各世代にあったお口の健康のための正しい知識を提供していきます。
- ・ むし歯予防のためには、正しい生活習慣と予防効果の高いフッ化物（塗布、洗口、歯磨き剤）の正しい知識と適切な実施方法を普及啓発していきます。
- ・ 歯肉炎、歯周病の予防には、歯だけでなく歯ぐきも含めての口腔ケアの重要性や、歯科医院への定期的な受診の必要性を啓発していきます。
- ・ 市町、地域の歯科医師会、教育委員会、企業などと協働して啓発を行っていきます。

(8) 展開方針

領域: 歯の健康



周囲の環境変化や今後の取組項目

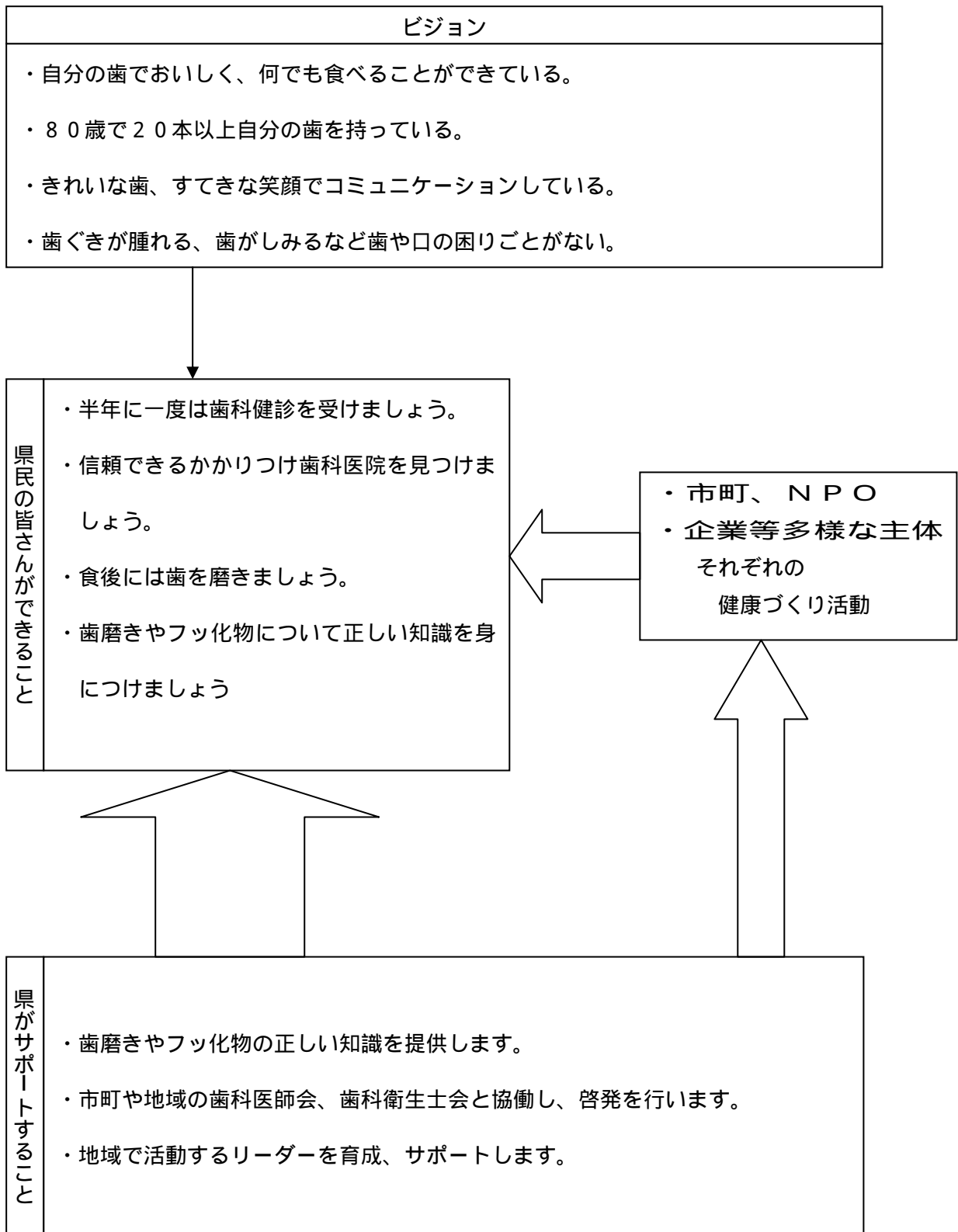
企業、NPO等の取組や取組メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師会の啓発 ・歯科衛生士の啓発 ・地域の歯科医院での啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児雑誌等による啓発 ・歯磨き剤のCMによる啓発
-------------------	--	--

市町村の取組や取組メニュー	<p>(啓発方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳半、3歳児健診 ・8020コンクール ・集団教育、個別健康教室 ・妊婦への啓発 ・ポスター、チラシによる啓発 ・就学時健診 ・保護者への啓発 ・歯科保健教室 ・幼稚園、保育園、小学校での啓発 ・イベント、マスメディアを通じた啓発 	<p>(啓発内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物(塗布、洗口、歯磨剤)の啓発 ・定期的な健診の必要性 ・食後の歯磨きについての啓発 ・フッ化物塗布が出来る歯科医院の情報提供 ・市町村の歯科保健についての情報提供 ・歯の健康づくりと生活習慣病についての啓発
---------------	--	---

取り巻く社会環境	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ素入り歯磨き剤の普及 ・歯科医院の増加 ・フッ素塗布、シーラント等むし歯予防措置をする人の増加 ・インターネット情報の一般化 	<ul style="list-style-type: none"> ・キシリトールガムの普及 ・歯の意識向上(白い歯、きれいな歯)
----------	--	--

(図中の県の取組について、印は既に実施している取組、 は一部実施している取組、・は今後実施予定の取組です)

(9) 県民の健康像ビジョン～県からの提案～



目 標

自分の歯で食事を楽しみましょう

- ・ 歯ぐきが腫れたりしみたりする人が増加しています。歯の健康についての正しい知識を知り、歯の健康について取り組みましょう。

取組のポイント

- ・ 半年に一度は歯科健診を受けましょう。
- ・ 信頼できるかかりつけ歯科医院を見つけましょう。
- ・ 食後には歯を磨きましょう。
- ・ 歯磨きやフッ化物について正しい知識を身につけましょう。

三重県の取組

- ・ 歯磨きやフッ化物の正しい知識を提供します。
- ・ 市町や地域の歯科医師会、歯科衛生士会と協働し、啓発を行います。
- ・ 地域で活動するリーダーを育成、サポートします。